

## 2月麻績村教育委員会定例会議 会議録

令和8年2月9日(月)

午前9時30分～

地域交流センター第3・4研修室

**出席委員** 職務代理 小山正文 委員 高野羊子  
委員 小松小百合

**出席職員** 麻績保育園長 塚原京子 麻績小学校長 尾台弘枝  
筑北中学校長 大鷹宏彰 教育長 加瀬浩明  
次長 宮下信俊 係長 森山正一 主任 高野智弘

### 一 開会(宮下教育次長)

令和8年2月の麻績村教育委員会定例会を始めます。よろしくお願いいたします。本日、坂口委員は欠席となります。

### 二 教育長挨拶(加瀬教育長)

**教 育 長:** 皆さんおはようございます。1月22日にPTA主催の講演会がありました。有坂栄康さんをお招きして講演をお聞きしました。とてもいい話を聞かせていただいて、子どもたちにも良い影響だったのではないかと思います。感謝いたします。

月末には子ども議会もありました。様々な提案をしていました。課長から答弁をしていました。とても有意義な活動になったと思います。子どもたちの目線というのは大事なんだなと感じました。

いよいよ、卒園卒業の時期を迎えるにあたり忙しくなってきます。体調管理にはお気を付けてください。激務になるかと思いますが、乗り切っていただきたいと思います。

それでは2月の定例教育委員会を始めさせていただきます。

### 三 報告

#### 1) 教育長報告

**宮下次長:** 報告事項に移ります。教育長報告をお願いします。

**教 育 長:** 立春を過ぎて一番忙しい時期になります。事務処理や引き継ぎ事項な

ど次年度に申し送らなければならないことについて、遺漏がないように複数で確認をして引き継ぎをお願いします。

市町村教委連絡会において非違行為の未然防止の話が毎回あります。チェックリストが校長先生を通じてそれぞれの学校へ行っています。何処とは分かりませんが、そのような事例が実際に起きているということだろうと思われまます。我々としても気をつけなければならない重要な事項です。

一番寒い時期であります。施設管理等に関しては、しっかり見ていただくようお願いします。古い校舎になってきています。思いもよらぬところで何かある可能性がありますのでお願いします。

雪道の交通事故には、十分注意するように先生方にお伝えください。また、子どもたちにも登下校の安全についてご指導いただければと思います。以上です。

## 2) 子育て支援コーディネーター・保育園長・学校長報告

**高野CO:** (以下、資料に沿って説明)。

**宮下次長:** それでは続いて保育園長報告に移ります。

**塚原園長:** (以下、資料に沿って説明)。

**宮下次長:** それでは続いて小学校長報告に移ります。

**尾台校長:** (以下、資料に沿って説明)。

**宮下次長:** それでは続いて中学校長報告に移ります。

**大鷹校長:** (以下、資料に沿って説明)。

**宮下次長:** それぞれからご報告いただきましたが、委員の皆様からご質問等ありますか。

**小松委員:** 子育て支援の部分で、ファミリーサポートの要望が毎回出ていると思います。わくわくの村も体制が整ってきました。また、活動を拡げてきたいところでもあります。官民学校連携しながらサポートの所で弾みが付くといいなと考えています。どこかでお話をさせていただいて、何がで

きるか一緒に図っていきたいと思います。

先ほどの報告を聞くとそれぞれの所で、頑張っていたいただいていることが分かりました。麻績の子どもたちは様々なよい経験をさせてもらっているなど感じています。社会に出ていくときに、力強く頑張っていけるのではないかと思います。

**高野委員：** PTA のことですが、小中学校の会員が十年前と比べると、だんだん少なくなってきたのではないかと思います。活動も縮小してやっているとは思いますが。もっと効率よく動くためには、保小中一貫と言っている中で、前回の定例でも話をしましたが、小中の PTA を統合してもいいのではないかと思います。十年前から考えていました。しかし、保護者が考えていても実現しないので、保護者からのまとまった声があるのなら、組織の方へ繋げて行ってほしいと思います。今後どうしたらよいか私たちが計画していきたいと思います。あと数年単位で進めていかなければならないと思う保護者が沢山いることをご承知おきください。

**宮下次長：** ファミリーサポートの話を出していただきましたが、わくわくの村の件で伺ってもいいですか。フリースクールの進捗具合はどうなっていますか。

**小松委員：** 進んではいますが、「じゃこれで行けるか」というところまではなっていないです。どこかでお話しできればと考えています。

**宮下次長：** いろいろ課題が多いと思います。我々も保小中一貫で進めていますので、統合校ということであればいくらか解決に進むのかなと思うところではありますが、皆さんと協議する中で少しずつ進めていきたいと思えます。

#### 四 報告・協議事項

##### (1) 要保護児童生徒援助費補助金（就学援助費）について

**教育長：** 要保護児童生徒援助費補助金について事務局より説明をお願いします。

**高野CO：** 新入学時期に必要な費用を学用品費の一部から補助するものとなります。年長児保護者には来入時保護者説明会の時に通知を配布しました。6年生児童については学校を通じて全員に通知を配布しています。その中から保育園小学校からそれぞれ1件ずつ申請が出ております。支給額

については、小学校の場合 54,060 円となり中学校は 63,000 円となります。3 月末までに支給する流れになります。説明は以上です。

## (2) 令和 8 年度の教育委員会関係予算について (現時点)

**教 育 長:** 新年度の教育委員会予算について現時点の所でお願ひします。

**宮下次長:** 上がり幅こそ少ないのですが、令和 7 年度よりも人件費がベースアップすることが決まりました。保育士、学校の講師や支援員など待遇面の改善の見込みとなっています。

来年度の予算額の大きなところですが、中学校で車椅子利用者の受入れを令和 9 年度に見込んでおりますので、多目的トイレと教室設置の関連経費を令和 8 年度に計上しています。昇降口を入った右手の倉庫スペースを多目的トイレとする予定になっています。また、一階東側の会議室を教室として利用するためにエアコンの設置を予定しています。設置業者に積算をお願いしたところ、多目的トイレの設置工事が 1,000 万を超える金額で出てきました。

給食費であります。昨年度一食当たり小学校 60 円、中学校 70 円の引き上げを行いました。物価高の関係もありましたので、小中学校の栄養士と相談しました。しかしながら値上げを見送りました。コメの値段が現状より下がれば大丈夫かと思っております。先月の定例でも触れましたが、給食費の負担軽減交付金で 490 万程が歳入で見込まれます。

その他学校の施設や設備で、修繕や更新の予算を計上しております。主だったところではありますが、保育園、小中学校ともに FF 式の石油暖房機が経年劣化で不具合が出ております。数年かけて、設置している全ての台数を更新していく予定で、予算計上をしております。来年度中学校でのサーバ更新を予定しております。また、小中学校の教職員公務用パソコンの更新予算を計上しています。小学校では、特別教室のエアコン設置と先生方の休養室整備についても予算が認められそうな見込であります。中学校では、教室のカーテンレールの修理、給食室の床補修を要望したところ認められそうな見込であります。教員住宅のエアコン設置の予算が認められそうです。説明は以上となります。

**教 育 長:** 現時点での説明ではありますが、委員の皆様から何かございましたら願ひします。よろしいでしょうか。

## (3) 子ども議会について

**宮下次長:** 小学校 6 年生が 4 グループに分かれて質問をしました。どのグループの質問も具体例を用いた提案型であったことが印象に残っています。

A グループですが、麻績村の活性化についての質問でした。村の玄関口となる聖高原駅前とトイレを清潔に保つことと、観光雑誌の作成と配布という内容でした。清掃業務については、子どもたちから時間銀行システムを利用する提案がありました。メディアの効果を実感しました。駅前のトイレが暗いというご意見もありました。総務課長から照明の更新について前向きな回答がありました。

B グループになります。「安全に過ごせる麻績村に」というテーマについて通学路の安全、カーブミラー設置の要望がありました。振興課長から説明がありました。現場を確認するとともにそれぞれ対応を練りますという答弁がありました。子ども議会の話題からそれですが、以前委員の皆さんと確認した横断歩道ですが、振興課で早速横断歩道の両脇にカラー舗装をしてもらいました。

C グループになります。若者定住住宅にできた公園のフェンスを高くしてほしいという要望でした。費用面と防犯面を考慮してフェンスの設置ではなく、ネットの設置を子どもたちが提案しました。模型を作って説明しているところに子どもたちの本気度が伝わりました。

D グループになります。災害があっても村民が誰一人として死なない村をテーマに災害発生時に無料で提供できる自動販売機の設置と、かまどベンチの設置に関する要望でありました。災害用の自販機については、役場にも一台設置されています。こちらについては子どもたちも事前に調べていました。交流センターの入り口や図書館の入り口に増台してほしいという要望でした。現状の村の防災の取組を総務課長から説明がありました。村の一時避難所である地区公民館にかまどや発電機を配備して災害に備えているという回答がありました。自動販売機については売上なども考慮しながら設置者とも相談していくという回答でした。以上となります。

**教 育 長:** 只今説明がありましたが、委員の皆様から何かございましたら願います。

**小山職務代理:** 大人顔負けに勉強していると思いました。模型もよくできていました。子どもたちが作った模型にもう少し関心を示してもらえれば良かったです。時間銀行についてもよく勉強していて、提案できたことが良かったなと思います。今後自分たちが議員になったり村長になったりして生かしてほしいということを村長も最後に言っていました。一旦村を出たとしても、戻ってきて村の中心となって活躍してもらえればいいなと思

いました。

**高野委員:** 子ども議会がこれほど機能してくるとはすごいことです。十数年前の始めたころは体験する程度でした。すごい取り組みになりましたね。

## 五 その他

### 1) 各委員から

**教 育 長:** 委員の皆様から何かございましたらお願いします。

**高野委員:** 児童デイサービスですが、利用するならば村外までいかなければなりません。山福農林舎が中心になって障がい者の事業をやってくださっています。今月 24 日に講演会を予定しています。『視覚的支援を使った心地よい暮らし』が演題になります。学校関係者や保護者の方にもご承知いただければと思います。教育委員会からも後援をいただいております。よろしくお願いします。

**教 育 長:** 只今情報をいただきましたので、この件について何かあればお願いします。よろしいでしょうか。

**小山職務代理:** センバツ高校野球の出場校が決まりました。箱根駅伝をはじめとして各種高校大学のスポーツでは伝統という言葉が使われます。伝統について早稲田大学ラグビー部の監督の日比野弘さんが言っています。伝統とは緊張と創造と継承とされています。緊張とは見直すこと。創造は新しく作り出すこと。継承は良いものを引き継いでいくこと。前年度踏襲ではなくて新しいものを作り出していることが、先ほどの園小中学校の報告からも感じました。また、青山学院大学の原晋監督の書いたものの中に「常識を疑うものが勝つ」とあります。学生スポーツは毎年選手が入れ替わりますので、前年と同じことをやっていたのでは勝てないということだと思います。我々の仕事でも、前年踏襲ではなくて見直す勇気も必要なのではないかと思います。

### 2) 事務局から

**教 育 長:** 事務局より連絡事項お願いします。

**宮下次長:** 部活動地域展開についてお願いします。1月16日に二回目の検討委員会を開催いたしました。子どもや保護者に向けたアンケートについて内

容を議論するとともに展開に向けてスケジュールを共有しました。

スケジュールについては、令和9年度から休日の運動部の活動について、地域に展開していくことを目標に進めていくことを皆さんで認識していただきました。

アンケートですが、現小学校の4から6年生と中学校の在校生を対象に行います。その保護者にもアンケートに協力をお願いすることで決まりました。アンケートの最終案を松本山雅さんをお願いしています。Googleフォームで回答できるようにします。山雅さんから戻ってくるタイミングになりますが今週中くらいには依頼したいと思います。2月末の締め切りで集計します。当初予定していたスケジュールより一週間ほど遅れています。いずれにせよ、今年度中にはアンケートをとって来年度進めていきたいと思います。3月3日に今年度最後となる検討委員会を予定しています。

**教 育 長:** この件について何かあればお願いします。よろしいでしょうか。

### 3) 次回予定

次回の定例教育委員会の日程      3月3日（火）      午前9:30～

## 六 閉会

**教 育 長:** 以上をもちまして2月の定例教育委員会を閉じます。